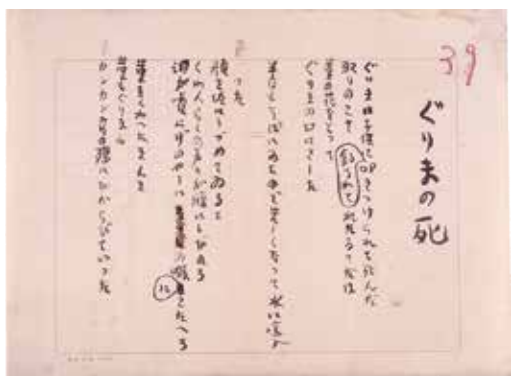




草野心平 (くさのしんぺい 1903～1988)
居酒屋「火の車」にて 1952年3月



草野心平自筆原稿「ぐりまの死」
『第百階級』(1928年11月 銅鑼社)所収



文学館常設展示室「命名の達人」

冬眠中のたった一匹の孤独なカエルよ、
おれは二十代からよくつかった名前の一つ、
ぐりまをお前さんにあげる。

草野心平「殿様がえるの命名」『わが生活のうた』(1966年4月 社会思想社)所収

詩人・草野心平は、詩の中に登場する蛙たちには「ぐりま」「ゲリゲ」「びらっふ」、生活を共にした動物たちには「癒蔵」「つる吉」「高蔵」といった様々な名前をつけました。1952年から営んだ居酒屋「火の車」ではお品書きに「どろんこ」「美人」等の独特の名前をつけたことでも知られ、60歳から暮らした東京都東村山市の自宅住所表記は「五光」と命名しています。

素材としての対象に「君の存在はこれらの言葉によつて適確に表現されたか」と問いかけ続けた詩人にとつて、命名は、一番短い詩の形態ともいえるでしょう。本展では、心平が命名した事物を取り上げ、関連資料と心平の言葉で、命名の達人でもあった草野心平の魅力を紹介します。



草野心平パステル画「高蔵」



草野心平書
「荔枝(ライチ) 五光に育つ」

会期中の催しのご案内

※新型コロナウイルス感染拡大による予定変更等については、文学館公式サイトをご確認ください。

スポット展示「猪狩満直」4月9日(土)～6月26日(日) 文学館常設展示室前 要観覧券
いわき出身の詩人・猪狩満直(いがりみつなお 1898～1938)の生涯と作品を紹介します。

いわき濤笛会 山口流篠笛コンサート
第10回記念演奏会 竹の遠音 小川の里に響く篠の音

5月5日(木・祝) 10時～11時 文学館アトリウムロビー 鑑賞無料
定員50名(先着順)、要申し込み。4月5日(火)9時より電話受付。

文学散歩「磐城七浜の文学」6月5日(日) 10時～12時(予定)

草野心平や吉野せいひの作品に登場するいわきの海にちなみ、塩屋埼灯台や薄磯海岸を歩き、いわき震災伝承みらい館を見学します(予定)。
参加費300円(塩屋埼灯台参観寄付金)
定員20名(先着順)、要申し込み。5月6日(金)9時より電話受付。

朗読サロン 文学館ボランティアの会事業 5月14日(土)、6月4日(土) いずれも11時～12時
楽しみながら朗読を学びます。お気軽にご参加ください。文学館小講堂 参加無料

文学館えほんのひろば

アトリウムロビーのえほんのひろばは、
どなたでも無料でご利用いただけます。
豊かな自然の中で、季節にちなんだえほん
をお楽しみください。

